

# ロシア軍のウクライナからの撤退と平和の実現を 武蔵野市議会が全会一致で決議を採択

武蔵野市議会第1回定例会中の3月14日に、日本共産党市議団を含む共同提案による「ロシア軍のウクライナからの撤退と平和を求める決議」を全会一致で可決しました。

2月24日、ロシア軍がウクライナに侵攻し、以来甚大な被害と民間人を含む犠牲が続いています。

日本共産党市議団は、ただちに街頭や駅頭で「ロシアは侵略をやめよ」「国連憲章を守れ」と訴え、ウクライナ国民への人道支援緊急募金の取り組みを行ってききました。

可決された決議は次の通りです。

今般のロシアが軍事侵攻によってウクライナの主権を脅かす行為は、武力行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章に反する暴挙である。

国際社会の度重なる自製の求めにもかかわらず、ロシアが侵略行為を継続し、子どもを含む一般市民の犠牲と戦火を拡大している事態は、法の支配に基づく国



駅頭で「戦争反対」の訴えを行う市議団  
= 3月5日、武蔵境駅南口、三鷹駅北口

際秩序から完全に逸脱しており、断じて容認できるものではない。

さらには、核兵器による威嚇、原子力発電所への攻撃という全世界を震撼させる事態にも及んでおり、被爆国日本として、また原子力発電所事故による放射能被害を受けた国民として断固非難する。

日本国憲法が掲げる平和主義のもと、日本政府は、国際社会と連携し、経済的制裁のみならず、ウクライナの人たちの生命と暮らしを守るため、難民救済をはじめ人道支援に率先して取り組むべきである。

よって、武蔵野市議会は、ロシア軍のウクライナからの即時撤退と速やかな平和の実現を強く求める。

以上、決議する。

## 18歳までの医療費助成を通院費まで拡大、完全無償化に 誰もが安心して暮らし続けられるまちへ ぐらしと地域を守り育む予算

武蔵野市2022年度予算案は、一般会計で前年度に比べ1.5%増の705億8600万円。日本共産党市議団が一貫して求めてきた18歳までの医療費完全無償化など、「誰もが安心して暮らし続けられるまちへ ぐらしと地域を守り育む予算」として編成されました。主な事業をお知らせします。

### 健康・福祉

- ▽看護小規模多機能型居宅介護事業者の公募：市内2か所目
- ▽介護職・看護職Reスタート支援金：不足がちな介護職等の人材確保のために、事業者への支援金の対象を拡大
- ▽高齢者等緊急訪問介護事業（レスキューヘルパー事業）：「一人暮らし高齢者、高齢者世帯のみ」から「障害等のある方」へと対象を拡大
- ▽福祉総合相談窓口の充実：8代の親が50代の子どもの生活を支える「8050問題」やひきこもり等、多様かつ複合的な課題を抱えている方の相談窓口を強化

### 子ども・教育

- ▽高校生等医療費助成事業：18歳までの医療費完全無償化
- ▽学校改築事業：第一中学校と第五中学校の改築事業。第五小学校と井之頭小学校の改築懇談会

を設置し、改築基本計画を策定

- ▽不登校対策と教育相談の総合的推進：家庭と子どもの支援員（常駐型）を新たに3校に配置
- ▽国保税均等割の多子世帯軽減の拡充：子育て世帯の負担を軽減。日本共産党市議団が求めてきました

### 平和・文化・市民生活

- ▽平和・憲法啓発事業：日本国憲法施行75周年を踏まえ、関連冊子増刷など
- ▽パートナーシップ制度：2022年4月から開始

### 緑・環境・都市基盤・その他

- ▽気候市民会議の開催及び気候危機打開武蔵野市民活動プラン作成
- ▽吉祥寺本町の中央高架下公園を遊び型の公園としてリニューアル

ご意見・ご要望・ご相談を  
お気軽にお寄せください



橋本しげき  
市議会議員  
☎0422-36-3110



本間まさよ  
市議会議員  
☎0422-32-6002



**コロナ  
対策**

**迅速・確実なワクチン接種、PCR検査の拡充など  
市民の声に寄り添い、より決め細やかな対応を**

**●代表質問、一般質問で党市議団が指摘と提案**

本間まさよ議員は、2月24日の会派代表質問で、新型コロナウイルス対策について取り上げました。

PCR検査の拡充と市民への検査キットの配布、自宅療養者への健康観察の強化、保健所機能の強化と保健所の増設、都立・公社病院の存続を求める働きかけ、小学校休業等対応助成金の周知についてなどです。

発熱など何らかの症状のある場合に個別医療機関でPCRを受けられる検査体制は整備されてきましたが、無症状者からの感染拡大を防ぐための検査体制の拡充は十分ではありません。無症状者についても「いつでも、誰でも、無料で」検査が受けられるよう、市民への検査キットの配布などを求めました。また、保育園の登園自粛や学校の休校、幼稚園休園などで保護者に有給休暇

**●市民の声を生かす新年度予算と事業**

**境南町の公衆トイレ改修**

女性のみなさんが「公衆トイレを街のオアシスに」のかけ声で改善を求める陳情を市議会に提出し、採択されて次々に公衆トイレの改修が進んできました。新年度は、武蔵境駅南口公衆トイレの便器の洋式化やバリアフリー化、乳幼児対応などやさしいトイレをめざし、境南ふれあい広場公園敷地内に武蔵野プレイスのデザインと調和した外

暇を取得させた場合に事業者を支給される「小学校休業等対応助成金」について、制度を知らない保護者や事業者のないよう、自治体としても周知を図ることを求めました。

橋本しげき議員も、3月1日の一般質問で、ワクチン接種の推進体制、自宅療養者支援、くらしや営業に関する市の独自支援など、コロナ対策について質しました。

松下市長は、接種の希望がかなうよう継続して取り組んでいる、保健所から自宅療養者の情報を得て電話連絡をして支援の対応を行っている、経済対策については、2回目のくらし地域応援券の実施や出店支援金の継続等を行っている、今後の感染状況や国・都の動向を見ながら検討していく、などと答弁しました。

観の公衆トイレを移設する事業が計上されました。工事は7月から行われ、来年1月中旬に完成予定です。



▲外観イメージ



▲全体イメージ

**西久保3丁目に公園を新設**

住宅が密集している西久保3丁目に、災害時の延焼防止等に寄与するオープンスペースとして公園を整備します。散策や買い物等の立ち寄りスポットとしての空間や、住宅、商店が混在している場所の特性をいかし、地域活動の拠点となるよう整備を行います。

みが進められます。

**多文化共生のまちへ推進プラン**

2021年度に実施した外国籍市民意識調査の結果を踏まえ、日本人と外国人がともに理解し、尊重し合い、活躍できる環境の整備を積極的に図るため、多文化共生推進プラン（仮称）を策定します。

**自治基本条例への理解を広げる**

武蔵野市自治基本条例制定からの2年間がほぼコロナ禍と重なり、説明会の開催など市民への周知の機会を十分に設けることができなかったことをふまへ、改めてリーフレットの全戸配布やシンポジウムの開催などにより、条例について市民に知ってもらう取り組み

**第六期長期計画・調整計画策定**

2024年度から始まる調整計画に向け、市民委員で構成される策定委員会を中心に、公募市民会議や無作為抽出ワークショップなど多様な市民、議員、職員参加を通じ、市政の課題等について全市民的な議論を行っていきます。

**緊急短期入所の食費など負担軽減へ改善**

**日本共産党市議団の指摘が実りました**

昨年第2回定例会で、国の制度改善に伴い、武蔵野市でも高齢者施設入所者の負担増となる条例改定が行われました。

今定例会の厚生委員会で改善を図る対応が報告されました。「高齢者等緊急短期入所事業の居宅費・食事費について、市議会での議論も踏まえ、

日本共産党市議団は、条例案審議の際に、親族などの虐待から避難するための緊急短期入所者についても食事費用が負担増になること等を指摘して条例改定案に反対。予算要望でも改めて改善を求めました。

被虐待者の経済的負担の軽減について検討した。その結果、同条例については、その虐待事案の状況等に応じて減免することができるように規則改正を行う。4月1日より施行予定」というものです。